

平成24年度広域科学専攻修士課程入学試験案内

この案内書は、平成24年度東京大学大学院総合文化研究科修士課程学生募集要項(広域科学専攻)を補足するものである。

1. 「外国語」の受験方法

「外国語(英語)」の試験は、下記①～③のいずれかの方法による。
受験者は、出願時に、下記①～③のいずれかを選択することができる。
受験者は、選択した方法を、入学願書の所定欄に記入すること。

- ① 筆記試験日(8月23日(火))に、本研究科試験場で実施される TOEFL-ITP を受験する。
TOEFL-ITP は、TOEFL の団体試験を利用して本研究科「外国語(英語)」試験として実施するもので、本研究科の受験者が同一の時間帯に同一の方法で受験するものである。
なお、TOEFL-ITP は、TOEFL-PBT と同等内容の試験であるが、試験結果は本年度の本研究科広域科学専攻修士課程入学試験にのみ有効であり、公式のスコアとはならない。また、結果は公表しない。
本研究科試験場で実施される TOEFL-ITP については、受験者が TOEFL 事務局に申し込む必要はない。また、TOEFL-ITP の受験料を支払う必要はない。
- ② 2009年9月1日以降受験の TOEFL-iBT 又は TOEFL-PBT のスコアシートを提出することにより、「外国語(英語)」試験に替える。この場合、上記①の TOEFL-ITP は受験できない。
スコアシートの提出方法については、「2. TOEFL スコアシートを提出する際の注意」を参照すること。
- ③ 筆記試験日の TOEFL-ITP の受験(上記①)に加え、TOEFL-iBT 又は TOEFL-PBT のスコアシートの提出(上記②)を行う。試験成績には、いずれか得点の高い方を採用する。
なお、TOEFL-ITP は、TOEFL-PBT と同等内容の試験である。TOEFL-ITP 又は TOEFL-PBT の点数と TOEFL-iBT の点数の換算は、TOEFL 事務局である E T S (Educational Testing Service) の H P で公開されている換算表による。(下記 URL 参照。)
(参照 URL http://www.ets.org/Media/Tests/TOEFL/pdf/TOEFL_iBT_Score_Comparison_Tables.pdf)

2. TOEFL スコアシートを提出する際の注意

- (1) 試験の種類 TOEFL の試験の種類は、TOEFL-iBT 又は TOEFL-PBT のいずれかとする。
- (2) 有効期限 2009年9月1日以降に受験したものに限定する。
- (3) 提出書類 以下の両方を出願書類と一緒に提出する。
 - ① 【E T S (Educational Testing Service) から本人宛に送付される「Examinee's Score Record」のコピー】
TOEFL-iBT 又は TOEFL-PBT の「Examinee's Score Record」のコピーを出願書類に同封して提出する。
 - ② 【E T S から本研究科宛に直送される「Official Score Report」】
送付先として「DI (Designated Institution) コード “6184”」(Department コード “99” (Any Department Not List)) を指定し、「Official Score Report」が平成23年7月13日(水)までに届くよう、E T S に請求すること。

注)・E T S から本研究科に送付される「Official Score Report」は、請求してからかなりの日数を要することがあるので、E T S への請求は上記提出期限の6週間以上前までを目処に行うこと。

なお、「Official Score Report」が平成23年7月13日(水)までに届かない場合は、出願書類に「Examinee's Score Record」のコピーを同封していても、筆記試験日に本研究科試験場で実施される TOEFL-ITP を受験することになるので、注意すること。この場合は、平成23年8月1日(月)頃までに、研究科から出願者にその旨連絡する。

- ・「DI コード“9259” (U of Tokyo)」で請求しないこと。本研究科には届かない。
- ・TOEFL-iBTの「Official Score Report」の請求は、「テスト申込時」又は「テスト後」となる。「テスト当日」の請求はできないので注意すること。
- ・スコア請求方法の詳細については、以下のホームページを参照すること。
(参照 URL : <http://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/scores.html>)

3. 「基礎科目」、「専門科目」、「総合科目」の受験方法

系別基礎・専門・総合科目試験（系によって名称・内容が異なるので注意）

出題範囲及び必要解答数は、以下のとおりである。

- (1) 生命環境科学系を第一志望とする出願者は、以下の「生命環境科学系専門科目」より3問を選択し、解答すること。なお、「生命環境科学系専門科目」は、日本語または英語で解答すること。

「生命環境科学系専門科目」（以下のうち3問を選択し、解答する）
物理学 5問、化学・生化学 4問、生物学 5問、身体運動科学 6問、
認知行動科学 5問

- (2) 広域システム科学系を第一志望とする出願者は、以下の「広域システム科学系総合科目」より3問を選択し、解答すること。なお、「広域システム科学系総合科目」は、日本語または英語で解答すること。

「広域システム科学系総合科目」（以下のうち3問を選択し、解答する）
数学 2問、物理・宇宙物理 2問、化学 2問、生物学 2問、認知行動科学 2問、
地球科学 2問、情報 2問、地理学 2問、地誌学 1問、科学史・科学哲学 1問、
社会科学 1問、科学技術社会論 1問

- (3) 関連基礎科学系を第一志望とする出願者は、以下の基礎科目、専門科目の両方を受けること。「関連基礎科学系基礎科目」及び「関連基礎科学系専門科目」より、それぞれ3問を選択し、解答すること。なお、「関連基礎科学系基礎科目」及び「関連基礎科学系専門科目」は、特に指定がない限り日本語または英語で解答すること。

「関連基礎科学系基礎科目」（以下のうち3問を選択し、解答する）
数学 2問、物理学 3問、化学 3問、生物学 1問、地学 1問※、
科学史・科学哲学 3問※※

※ 地学については、今年度実施される平成24(2012)年度入学試験までは出題範囲に含まれるが、来年度実施される平成25(2013)年度入学試験以降は出題範囲から除外される。

※※ 科学史・科学哲学の3問のうち2問は、ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語のうち、いずれかの外国語の能力をも問う問題が出題される。

「関連基礎科学系専門科目」（以下のうち3問を選択し、解答する）
数学 1問、物理学 4問、化学 4問、生物学 1問、科学史・科学哲学 4問

4. 社会人特別選抜

社会人特別選抜出願者に課される筆記試験も前記1、3と同じである。

5. 口述試験

- (1) 口述試験は、系ごとに口述試験対象者として、掲示場はその受験番号が発表された者に対してのみ行われる。

- (2) 第一志望と第二志望で異なる系(専門グループ)を選んだ出願者に対しては、第一志望だけでなく第二志望の系(専門グループ)でも口述試験を行うことがある。

6. 試験日程

上記諸科目の試験は、次表の日程により実施する。

月 日	系	時 間			
8月23日 (火)	生命環境科学系	外国語(英語) 9:00~11:30	専門科目 13:00~16:00		
	広域システム科学系		総合科目 13:00~16:00		
	相関基礎科学系		基礎科目 13:00~14:30		専門科目 15:15~18:15
8月31日 (水)	各系	口 述 試 験			
9月 1日 (木)	各系	口 述 試 験			
9月 2日 (金)	各系	口 述 試 験			
9月 3日 (土)	各系	口 述 試 験			

7. 入学願書作成に関する注意

- (1) 入学願書は、「一般出願者・外国人出願者」用(白色)と「社会人特別選抜出願者」用(青色)に分かれているので、記入する際は十分注意し、どちらか一方を提出すること。
- (2) 入学願書は、正・副2枚ある。双方の記入内容に相違がないよう注意すること。また、必ず2枚とも提出すること。
- (3) 「受付番号」及び「受験番号」欄以外は、該当する箇所すべてを記入すること。特に裏面の記入を忘れないこと。
- (4) 「現在の身分」欄は、「出身大学」欄に記載の大学に在学中でない者のみ、所属機関、部局等の名称及び身分を記入すること。
- (5) 志望する「系(専門グループ)」及び「指導教員」欄の記入方法については、10ページを参照すること。
- (6) 貼付する写真3枚は、すべて同一のものを使用すること。

8. その他の書類作成に関する注意

- (1) 志望する系(専門グループ)及び指導教員等の複数の書類に共通して記入する事項については、記入後、相違がないか必ず確認すること。

- (2) 出願書類送付用封筒の両面を必ず記入し、出願書類等を封筒裏面に記載してある【出願書類等提出明細】の順に整理して封入すること。
- (3) 受験票送付用封筒に350円分の切手を必ず貼付すること。
- (4) 提出書類(各種証明書、論文等)に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、改姓名したことが確認できる証明書を添付すること。

9. その他

- (1) 広域科学専攻の各系の過去数年間の入試問題については、下記 URL を参照してください。

- 生命環境科学系 <http://bio.c.u-tokyo.ac.jp/guidance.html>
- 広域システム科学系 <http://system.c.u-tokyo.ac.jp/p-graduate/guide.html>
- 関連基礎科学系 <http://www.dbs.c.u-tokyo.ac.jp/exam/kakomon/>

- (2) 広域科学専攻の筆記試験の配点などの情報については、下記 URL を参照してください。

- 生命環境科学系 <http://bio.c.u-tokyo.ac.jp/guidance.html>
- 広域システム科学系 <http://system.c.u-tokyo.ac.jp/p-graduate/guide.html>
- 関連基礎科学系 <http://www.dbs.c.u-tokyo.ac.jp/exam/guide/>